

癌化学療法輸液約束処方 慢性リンパ性白血病

癌種 再発または難治性の慢性リンパ性白血病

レジメン名 CLL1 Ven+R

薬品名 (商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与日	投与時間	1クール期間
#リツキサン	リツキシマブ	R	375mg/m ² (初回) 500mg/m ² (2クール目以降)	div	Day1	下記参照	28日間
ベネクレクスタ	ベネトクラクス	Ven	備考参照	po	連日	1回食後	

2021年4月現在、保険適応があるのはリツキサン (リツキシマブの先発品) のみ

【DAY 1】

- ① NS 50ml + ポララミン 1A + ソルコーテフ 100mg / 15分 ☆別々のシリンジで混注
- ② NS 500ml + リツキサン mg / 100ml/hrから開始
投与速度: 30分毎に 100ml ずつ上げる(200ml/hr → 300ml/hr → 400ml/hr)
- ③ NS 50ml / 5分

< 備考 > リツキサンは6クールまで、ベネトクラクスは2年間まで (増量期間は含めない)

・リツキサンの注意事項

- ① 投与速度は 初回は50ml/hr から開始し、30分毎に 50ml ずつ速度を上げる。最大 400ml/hr
- ② 2回目以降は 100ml/hr から開始し、30分毎に 100ml ずつ速度を上げる。最大 400ml/hr
- ③ ベネクレクスタの維持投与期(6週目)から、リツキサン併用開始となる
- ④ その他の注意事項に関してはNHL1参照

・ベネクレクスタの投与量に関する事項

- ① 初回20mgから開始し、1週間毎に漸増していく (用量漸増期)
1週目20mg→2週目50mg→3週目100mg→4週目200mg→5週目400mg
- ② 5週間の用量漸増期終了後、維持投与期 (400mg) に移行→6週目からリツキサン併用開始

ベネクレクスタの用量レベル

用量レベル	1日用量
用量レベル 5	400mg
用量レベル 4	300mg
用量レベル 3	200mg

③CYP3A阻害剤またはP糖タンパク阻害剤との併用の際には減量を行う

CYP3A阻害剤との併用時の用量調節基準

併用薬剤	用量漸増期	維持投与期
中等度のCYP3A阻害剤	半量以下に減量すること	
強いCYP3A阻害剤	併用しないこと	100mg以下に減量すること

用量レベル 2	100mg
用量レベル 1	50mg
用量レベル 0	20mg
用量レベル -1	10mg

④休薬: 血液毒性Gr4 (好中球減少、血小板減少はGr3) 非血液毒性Gr3 (腫瘍崩壊症候群は除く)

→回復後は休薬前と同じ用量レベルで再開し、再発した場合は休薬後に用量レベルを1段階減量して再開

⑤腫瘍崩壊症候群の予防を適宜行う (必要に応じ、治療前から高尿酸血症治療剤の投与を行う)

R3.5.14作成

⑥腫瘍崩壊症候群: 消失するまで休薬→2週間以上の休薬を要した場合、休薬前より1段階用量を減量して投与再開する